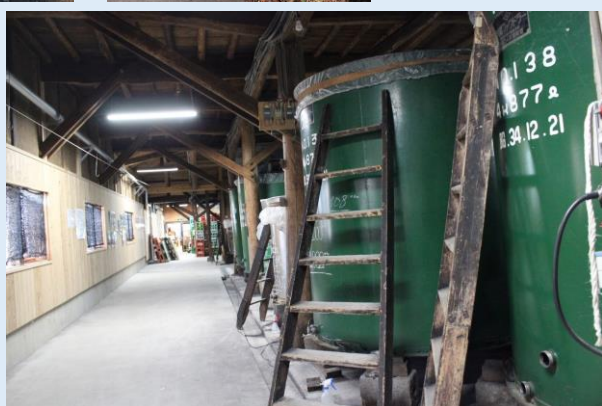
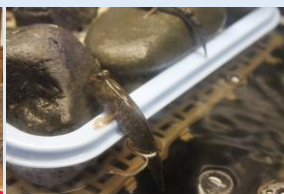
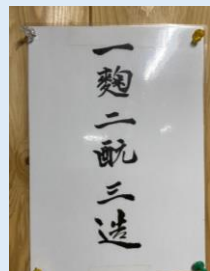




そういう鹿島  
Show you Kashima







## 祐徳稲荷神社

自然と文化を同時に感じる事が出来る。日本の個性を目や耳、五感を通して感じる事が出来る。 日本三大稲荷の一つ。赤を基調とし、多数の鳥居を通ることで異世界を感じる事が出来る。

## 鹿島の干潟

ラムサール条約にも登録されており、有名な水族館でも目にすることが出来ない水生生物との出会いを楽しむ事が出来る。 ガタリンピックも開催され、夕暮れと共に楽しむ鹿島の干潟は格別である。干潟無くして鹿島なしなのである。



## 稲荷羊羹と門前商店街

日本一の羊羹好き佐賀県で、食べて楽しむと言ったら稲荷羊羹である。羊羹を押し出し、ひもで切る楽しみは羊羹を食べる楽しみを引き立ててくれる。門前商店街では、多くの店が軒を連ね歩を進めるペースが自然と落ちてしまう。昔からの商店街を味わう事が出来、ゆっくりと進む鹿島の時間を楽しむ事が出来る。



## 日本酒の酄

日本のお酒といえば名前の通り日本酒。日本酒には麴、そして寝かせることがどのお酒と比べても重要であり、待てば待つほど楽しめる一杯となる。日本酒を寝かせることを楽しめることと同様に待つことも楽しめるようになりたい今日この頃である。



## 稲荷での風鈴

白い稲荷様が祐徳稲荷の象徴であり、風鈴の奏でる音色、稲荷様の笑顔に足を止め色々な願い事を読んでは笑みをこぼしてしまう。願いごとを文字に起こす楽しさを共有できる。

## 日本の漬物

日本の食卓で朝ごはんにおいて今日も頑張ろうと背中を押してくれるのは漬物であろう。漬物で米を食べ味噌汁で流し込む。明日の朝食では漬物を食べたくなっただのではないだろうか。歴史ある漬物は格別で作り方を学ぶことで日本食における待つことの大切さを学べる。言葉では表せないおいしさを是非楽しんでいただきたい。

## 稲荷での調和

稲荷でのふとした場面であるがここでは、日本ならではの文化と西洋の文化の融合を目で楽しむ事が出来る。季節のイベントごとでかわるこの場面には心を踊らされるものを感じられる。足を運んで目で楽しんでみたい場所である。



## 鹿島の味わい

鹿島での体験は、近代化している日本とは異なる昔からの日本の良さを凝縮しているため自分の足で日本を満ち足りていくまで楽しむ事が出来る。ゆっくりとした時間の流れを楽しみ明日からまた頑張ろうと思える場こそが私たちが見せたい鹿島であり、そういう鹿島なのである。